



平成24年5月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成24年1月12日

上場取引所 東

上場会社名 アウンコンサルティング株式会社

コード番号 2459 URL <http://www.auncon.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 信太 明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員

(氏名) 坂田 崇典

TEL 03-5803-2727

四半期報告書提出予定日 平成24年1月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年5月期第2四半期の連結業績(平成23年6月1日～平成23年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第2四半期	712	42.4	90		82		82	
23年5月期第2四半期	1,237	4.0	82		83		99	

(注) 包括利益 24年5月期第2四半期 105百万円 (%) 23年5月期第2四半期 107百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第2四半期	1,142.16	
23年5月期第2四半期	1,373.08	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年5月期第2四半期	937	733	78.2	
23年5月期	1,043	846	81.0	

(参考) 自己資本 24年5月期第2四半期 732百万円 23年5月期 845百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期		0.00		100.00	100.00
24年5月期		0.00			
24年5月期(予想)				150.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年5月期の連結業績予想(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,616	23.2	21		21		21		291.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年5月期2Q	72,428 株	23年5月期	72,428 株
----------	----------	--------	----------

期末自己株式数

24年5月期2Q	株	23年5月期	株
----------	---	--------	---

期中平均株式数(四半期累計)

24年5月期2Q	72,428 株	23年5月期2Q	72,428 株
----------	----------	----------	----------

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	P. 7
四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 10
(5) セグメント情報等	P. 10
(6) 追加情報	P. 10
(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年6月1日～平成23年11月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災による経済の落ち込みから緩やかに回復はしているものの、米国景気の先行き不安や欧州債務問題への懸念による円高の継続、タイ洪水の影響による企業業績の下振れにより、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは昨年に引き続き、重要な経営課題である事業構造の転換と事業領域の拡大を推進すべく、高付加価値サービスの開発・販売や、検索エンジンマーケティング（以下、「SEM」）領域に合わせて、グローバルマーケティング領域へと進出するための施策を積極的に進めてまいりました。

まず、国内および海外に共通する取り組みとして、平成23年6月に提供を開始した完全成果報酬型SEOサービスの販売活動を、当社グループ全体で強化してまいりました。海外の検索エンジンに対して成果報酬型SEOサービスを提供することは、類を見ない試みではありましたが、導入障壁の低さやグローバル志向のある日本企業や欧米企業、海外の現地企業に適した販売促進活動をきめ細かく行った結果、国内のみならず、海外においても、販売数を順調に伸ばしております。今後はさらにグローバルマーケティングの支援体制の強化を進め、国内および海外において、より幅広くサービスを提供できるように努めてまいります。

また、日本でも急激な成長を遂げているソーシャルメディアの一つ「Facebook」を利用し、マーケティング情報を中心としたプロモーション活動を開始いたしました。各拠点のネットワークを活かした魅力的なチャンネルを作り、グローバルマーケティングの認知向上を図ってまいります。

次に、翻訳サービスに関しては、英語・中国語（簡体字・繁体字）・韓国語を始め、世界22ヶ国、64言語に対応し、企業のグローバル展開を多言語で支援しております。国内外を問わず豊富な経験を持った翻訳者とネットワークを持ち、質と利便性を追求したサービスを提供することで、堅調に売上を伸ばしております。また、マルチリンガル旅行・生活情報予約サイト「More」に関しては、広告販売を中心に営業活動を展開した結果、各拠点においても順調に販売数が増加し、成果を上げ始めております。

こうした国内外の取り組みにより、業績に関しては前年同期と比べ減収となりましたが、概ね計画どおり推移しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高は712百万円（前年同期比42.4%減）、営業損失は90百万円（前年同期は営業損失82百万円）、経常損失は82百万円（前年同期は経常損失83百万円）、四半期純損失は82百万円（前年同期は四半期純損失99百万円）となりました。

なお、セグメント別の状況については、当社グループはSEMを主としたマーケティング事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて11.2%減少し、771百万円となりました。これは、主に現預金の減少によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて5.3%減少し、165百万円となりました。これは、主に無形固定資産の減少によるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2.8%増加し、197百万円となりました。これは、主に買掛金の増加によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて24.7%増加し、6百万円となりました。これは、主に預り保証金の発生によるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて13.4%減少し、733百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の四半期末残高は525百万円（前年同期は713百万円）となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は、88百万円（前年同期は63百万円の支出）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失82百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、3百万円（前年同期は53百万円の支出）となりました。これは主に、敷金及び保証金の差入による支出3百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、7百万円（前年同期は22百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払額7百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績に関しましては、概ね計画通りに推移しているため、平成23年7月13日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	646,697	525,377
受取手形及び売掛金	199,655	224,528
仕掛品	442	1,021
その他	22,304	21,186
貸倒引当金	△394	△574
流動資産合計	868,705	771,539
固定資産		
有形固定資産		
建物	18,213	18,155
減価償却累計額	△5,854	△7,171
建物(純額)	12,359	10,983
工具、器具及び備品	41,305	43,254
減価償却累計額	△26,824	△29,249
工具、器具及び備品(純額)	14,480	14,005
有形固定資産合計	26,840	24,988
無形固定資産		
のれん	2,358	1,686
ソフトウェア	32,949	29,182
その他	945	—
無形固定資産合計	36,252	30,869
投資その他の資産		
投資有価証券	36,844	35,511
長期貸付金	12,000	9,000
敷金及び保証金	60,426	62,818
その他	2,489	2,388
投資その他の資産合計	111,760	109,718
固定資産合計	174,853	165,576
資産合計	1,043,559	937,116

アウンコンサルティング(2459)
平成24年5月期 第2四半期決算短信
(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	122,304	133,707
未払費用	28,865	23,606
未払法人税等	1,075	1,349
前受金	12,126	10,566
その他	27,745	28,270
流動負債合計	192,118	197,501
固定負債		
その他	4,978	6,205
固定負債合計	4,978	6,205
負債合計	197,096	203,706
純資産の部		
株主資本		
資本金	339,576	339,576
資本剰余金	470,576	470,576
利益剰余金	38,927	△51,039
株主資本合計	849,079	759,112
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,884	△1,760
為替換算調整勘定	△1,996	△24,846
その他の包括利益累計額合計	△3,881	△26,606
少数株主持分	1,264	903
純資産合計	846,462	733,409
負債純資産合計	1,043,559	937,116

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
売上高	1,237,055	712,025
売上原価	1,027,581	564,169
売上総利益	209,473	147,856
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費合計	292,290	238,142
営業損失(△)	△82,817	△90,286
営業外収益		
受取利息	339	294
還付加算金	579	8
解約手数料等	1,069	1,317
未払配当金除斥益	684	905
為替差益	—	6,086
その他	746	622
営業外収益合計	3,419	9,234
営業外費用		
支払利息	111	115
為替差損	2,065	—
投資有価証券評価損	1,529	1,395
その他	21	34
営業外費用合計	3,728	1,546
経常損失(△)	△83,126	△82,598
特別損失		
子会社株式売却損	16,057	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	705	—
特別損失合計	16,763	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△99,889	△82,598
法人税、住民税及び事業税	290	410
法人税等調整額	256	—
法人税等合計	547	410
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△100,437	△83,008
少数株主損失(△)	△987	△284
四半期純損失(△)	△99,449	△82,724

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△100,437	△83,008
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△397	124
為替換算調整勘定	△7,055	△22,926
その他の包括利益合計	△7,453	△22,801
四半期包括利益	△107,890	△105,810
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△105,090	△105,449
少数株主に係る四半期包括利益	△2,799	△360

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△99,889	△82,598
減価償却費	11,059	9,289
のれん償却額	263	521
子会社株式売却損益(△は益)	16,057	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	705	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,180	180
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△144	—
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△7	—
投資有価証券評価損益(△は益)	1,529	1,395
受取利息及び受取配当金	△339	△294
支払利息	111	115
売上債権の増減額(△は増加)	35,659	△25,928
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,811	△812
仕入債務の増減額(△は減少)	△36,724	11,501
その他	1,442	△5,782
小計	△76,266	△92,411
利息及び配当金の受取額	300	294
利息の支払額	△111	△115
法人税等の支払額	△165	△1,211
法人税等の還付額	12,898	4,831
営業活動によるキャッシュ・フロー	△63,343	△88,612
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	180	—
有形固定資産の取得による支出	△280	△1,992
無形固定資産の取得による支出	△23,549	△857
敷金及び保証金の差入による支出	△1,994	△3,255
敷金及び保証金の回収による収入	15,289	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△49,466	—
その他	6,000	3,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△53,821	△3,105
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△637	△722
配当金の支払額	△22,098	△7,014
財務活動によるキャッシュ・フロー	△22,735	△7,737
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,537	△21,863
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△145,437	△121,319
現金及び現金同等物の期首残高	858,762	646,697
現金及び現金同等物の四半期末残高	713,324	525,377

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年6月1日 至 平成22年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	マーケティング 事業	クリエイティ ブ事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	1,178,093	58,961	1,237,055	—	1,237,055	—	1,237,055
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	2,630	3,704	6,335	—	6,335	6,335	—
計	1,180,724	62,666	1,243,390	—	1,243,390	6,335	1,237,055
セグメント損 失(△)	△78,871	△3,960	△82,831	—	△82,831	△14	△82,817

(注) 1 セグメント損失の調整額△14千円は、棚卸資産の調整額であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)

当社グループは、SEMを主としたマーケティング事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)

該当事項はありません。